



新庁舎建設事業の進捗状況をお知らせします。

新庁舎建設「基本設計」をまとめました。

新庁舎建設基本計画に基づき、建物の概要や平面計画等の条件整理を行い、市民説明会やパブリックコメントで寄せられた市民の皆さんのご意見を参考に、令和元年9月に基本設計をまとめました。今後はこの基本設計をもとに、より詳細な設計を行う実施設計へと進めてまいります。

なお、基本設計の内容は、新庁舎建設事業NEWS⑬⑭に掲載するとともに、詳しくは行政情報コーナー、市ホームページでご覧いただけます。また、基本設計のイメージ動画を市ホームページで配信しています。

基本設計案の市民説明会を開催しました。

基本設計をまとめるにあたり、市民説明会を開催し、市民の皆さんと意見交換を行いました。内容（抜粋）は以下のとおりです。詳しくは行政情報コーナー、市ホームページでご覧いただけます。

- 開催期間 令和元年8月29日から9月4日までの間
- 開催場所 市内6カ所（文化会館、山部福祉センターほか）
- 参加者数 172名



【市民説明会の意見交換の内容(抜粋)】

▶ 浸水対策は大丈夫？

100年に1度のハザードマップでは浸水区域0.5mのため、新庁舎は床レベル0.5m嵩上げや重要設備の上層階設置のほか、1000年に1度のハザードマップも考慮し1階が浸水する大災害に対応するため、1階と2階以上で設備系統を分け建物の安全性と業務の継続性を確保していきます。

▶ 1階の総合窓口とは？

1階総合窓口は、総合案内や利用頻度の高い住民票・証明書発行の窓口を想定しています。2階市民窓口は、説明が必要な手続きや相談業務等の窓口を配置します。将来的には情報通信技術（ICT）の活用により、1階総合窓口で取り扱う業務の拡大や閉庁日の対応等も検討していきます。

▶ 子どもの遊び場は土日も使えるの？ Free WiFiも使えるようにしてほしい。

（仮称）子どもの遊び場は、貸館のある市民活動エリアに配置しますので、貸館が利用できる開館時間、土・日曜日でもご利用いただけます。また、1階市民活動エリアは、公衆無線LANが利用できる設備を備えています。

▶ エレベーターは何人乗りで何基つくの？ エスカレーターは付けないの？

エレベーターは13人乗りで、車いすやストレッチャーが入るものを1基設置します。エスカレーターは設置費や維持費が高額なため設置は計画していません。足の不自由な方などはエレベーターをご利用いただくようお願いします。

▶ 面積の増加はどこ？何のため？

基本計画では面積8,200㎡を目標としていましたが、利用団体や市民からの要望を検討した結果、基本設計では約8,700㎡となりました。主に新設する（仮称）子どもの遊び場や大ホールのリハーサル室の部分で増加となっています。

▶ 文化会館の跡地はどうなるの？

文化会館跡地は、解体後に大ホール利用者等の臨時的駐車場にすることを予定しています。将来的には他の活用検討の可能性も想定し、舗装工事は行わず、敷砂利を予定しています。

基本設計案のパブリックコメント（市民意見提出手続）を実施しました。

新庁舎建設基本設計案のパブリックコメント（市民意見提出手続）を、次のとおり実施しましたので、その結果をお知らせします。全件は行政情報コーナー、市ホームページでご覧いただけます。

- 意見募集期間 令和元年8月15日から令和元年9月4日まで
- 意見提出件数 11人（50件）

【パブリックコメント実施結果（主な意見と市の考え方（概要））】

▶ 富良野らしさのデザインについて

- ・外観や内観に富良野らしさを取り入れて市民が親しみやすい新庁舎にするために、外観には周辺の植樹を増やし、内観には（仮称）市民交流プラザに木を多用し、市の花や木・鳥などの小動物の写真パネルの設置（倉本聡氏の点描画などもインパクトがある）、やすらぎや癒しのBGMを流したり、（仮称）子どもの遊び場にステンドガラスの窓で柔らかさを出す手法も考えられる。
⇒ご意見を参考に今後の実施設計において検討してまいります。

▶ 平面計画・外装計画について

- ・1階の研修室や会議室の床はカーペットで、子どもが転んでケガをしないようにしてほしい。
⇒必要に応じカーペット等を敷く運用でのご利用を考えてまいります。
- ・2階や3階の執務室が狭いのではないかと。文書の電子化を検討すべき。
⇒新庁舎検討委員会の意見を踏まえ、執務室はコンパクトにしています。今後の情報通信技術（ICT）の活用などを見据え、保存書類の電子化を一層進めてまいります。
- ・4階議会エリアの議員が使用する部屋数を多く取りすぎているのではないかと。
⇒議会特別委員会の協議をもとに、必要な部屋数やスペースを確保しています。議場については、他の会議でも使用できるよう可動席で計画しています。
- ・外装のガラスは寒暖への対応から再検討を要すると感じる。
⇒断熱・遮熱性の優れたガラスを採用しますので、冬期間でも安心して利用できます。

▶ 大ホール計画について

- ・大ホールの楽屋が小さく2部屋は少なすぎる。
⇒大楽屋としてリハーサル室を利用できることから、常時利用があるものではない楽屋は最小限と考えましたが、少し広げることができないか、今後の実施設計で検討してまいります。

▶ 防災計画について

- ・新庁舎が一番先に浸水した場合、避難場所の確保はできているのか。
⇒避難場所は市内に37箇所あり、災害の状況により避難所を開設し、市民にお知らせしています。
なお、新庁舎では1階と2階以上で設備系統を分けることで、新庁舎が浸水した場合でも2階以上を一時避難所として利用できるような必要な機能を確保することとしています。

▶ 概算工事費について

- ・概算工事費57億円をどのように返済するのか。市民にしわ寄せがないか心配。
⇒返済は30年償還で年1.5億円を見込んでいます。なお、市では借入返済費（公債費）が、平成30年度決算で約11.49億円となっており、今後返済が終了するものもあり、新庁舎建設の返済を含め、概ね同程度で推移するものと見込んでいます。

▶ ユニバーサルデザインについて

- ・全ての多目的トイレに、おむつ交換台、ベビーチェア、ストーマ対応設備を設置してほしい。
⇒利用頻度を考慮し、1階市民活動エリアの多目的トイレ（大ホール側）に、オムツ替えシート、ベビーチェア、オストメイト対応設備を設置します。